

登別市伴走型 BPR 支援業務委託仕様書

- 1 委託等名
登別市伴走型 BPR 支援業務委託
- 2 目的
本業務は、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進するうえでの前提となる BPR について、専門的な知見をもつ人材が各グループに伴走的な支援を行い、業務の効率化に努めるとともに、デジタルの活用を進めることで DX 人材の裾野を広げることを目的とする。
- 3 履行期間
契約締結日から令和 6 年 3 月 31 日まで
- 4 履行場所
北海道登別市中央町 6 丁目 1 1 番地 登別市役所本庁舎外
※オンライン会議システムの利用を妨げない。ただし、オンライン会議システムのホストアカウントは、原則として受託者が用意すること。
- 5 事業費上限額
4,763,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）
- 6 業務内容
【最低要件】
 - ・ BPR 対象グループから業務の推進状況などを直接ヒアリングし、改善策を提案すること。
 - ・ ヒアリング対象グループの選定は、総務部 DX 推進室 DX 推進グループと協議のうえ、決定すること。
 - ・ 改善のアイデアについては、①事務自体の廃止、②プロセスの簡略化、③プロセスのデジタル化及び④アプリケーションの有効活用の順を基本にサービスデザインを意識し、検討すること。
 - ・ 改善策については、各グループに確定事項として伝えることはせず、DX 推進グループと協議のうえ、方向性を決定すること。
 - ・ DX 推進グループとの協議は 2 週間に 1 回を基本に定例的に行うこと。
 - ・ 改善策については、本市のセキュリティポリシーなど、本市の定め範囲内に留めること。ただし、DX 推進グループとの協議の場合においては、将来のポリシー等の変更を勘案してもよい。
 - ・ 各グループとのヒアリング結果及び改善提案について、報告書を提出すること。
【推奨事項】
 - ・ 伴走型 BPR をより効果的なものとするため、各職階向けに DX 研修を実施することが望ましい。
 - ・ 上記の研修を行う場合、研修資料一式を納品すること。
 - ・ 業務プロセスの BPMN 図（業務プロセスモデル図）など、業務プロセスの見える化に努めることが望ましい。
 - ・ 伴走型 BPR の手法については、DX 推進グループにおいてノウハウを蓄積し、自ら取り組むことを想定しており、ノウハウの蓄積に配慮した取組が望ましい。
- 7 本市の環境
別紙のとおり
- 8 その他
 - (1) 本委託業務の成果物に関する著作権等は、本市に帰属する。
 - (2) 本委託業務で知り得た情報及び本委託業務に係る内容を第三者に漏らしたり、その他の目的に活用してはならない。
 - (3) 本仕様書に明記されていない事項であっても、業務遂行上必要な業務等は、良識のある判断に基づいて行わなければならない。
 - (4) 本仕様書は、事業者選定に係る提案募集のため、最低限の仕様を示すものであり、事業者の選定後、提案内容により発注仕様書を定めるものとする。